

2008 年度前期 大学院修士課程教育改善委員会 (FD 研修会) 議事録

1. 開催日時：平成 20 年 9 月 24 日 (水) 14:50-12:00
2. 開催場所：S2 棟 3F 会議室
3. 出席者：安原一哉，福沢公夫，小柳武和，沼尾達弥，呉智深，井上涼介，金利昭，山田稔，小峯秀雄，横木裕宗，寺内美紀子，原田隆郎，桑原祐史，信岡尚道，村上哲，藤田昌史，田坂幹雄 (土木行政非常勤講師)，田名部菊次郎 (技術員)，金澤浩明 (技術員)，木村亨 (技術員)，石川比奈子 (事務補佐員)

(順不同,敬称略)

1)前期学科各科目の点検と評価

構造工学特論 (呉)

- ・他大学と同等の標準で授業実施をしている。

沿岸環境形成工学特論 (横木)

- ・受講生のレベル変動は無いと判断される。

土質基礎工学特論 (村上)

- ・成績は期末試験 1 本。試験は持ち込み可。
- ・板書と早口を気を付ける。

景観設計特論 (小柳)

- ・発表形式に授業を変更した。このため、シラバスとはかなり異なった授業内容になった。
- ・発表型の授業が良い。

土木材料工学特論 (沼尾)

- ・当初予定していた現場環境が異なったために、シラバスと授業内容が異なった。
- ・授業履修者が多いので授業実施が大変である。輪講などを実施した。
- ・学生の理解度にはばらつきがあった。

環境地盤工学特論 (小峯)

- ・英語論文を自分で選んで内容を発表してもらった。評価は「理解度、プレゼンへの転用、質問回数、応答回数、英語で発表」
- ・課題が厳しく設定されているので受講をためらった、という学生がいたが、逆にこの点がアンケートの高評価に繋がったことは興味深い。

社会基盤情報処理特論 (原田)

- ・成績分布は昨年度より下がった。
- ・プログラミングについては学生のアレルギーがあるようだ。今まで勉強していることではないので途中離脱は学生にもアナウンスしている。

構造物維持管理学特論 (横山)

- ・受講者数は昨年よりも増えている。

国土空間情報特論 (桑原)

- ・施設との関係で授業構成を変えて行きたい。

土木計画学特論 (金)

- ・前後期開講で履修学生数はあまり変わらない。
- ・満足度が高い学生しか最後まで残らないのでアンケートの結果はいいのか？

研究グループからの報告

それぞれの研究室で特別演習および特別研究は昨年通りに実施されていることが確認された。